様式３（2015.06改）

作成日　平成 ２８ 年　９ 月 ２９

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000043
事業所名	グループホーム上豊田

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域との付き合い（外部評価項目：２）	評価
	散歩時、外出時での地域住民への挨拶、声掛けなど交流がある。 事業所での行事（祭り等）への住民への参加呼びかけ（チラシ）など行い、近隣の子供や住民の参加を促している。行事内容なども参加しやすい工夫（かき氷等出したり、楽しめるようにしている。）がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	自治区長、民生委員、地域包括支援センター、家族、入居者等の参加により行事、運営状況報告、意見要望の収集を行い、運営への提言を促している。 入居者に強制しない自由な運営、家庭的な運営の要望があり、職員に周知している。 入居者の要望を取り入れ、外出、ドライブなど、買い物、リハビリ、喫茶外出など機会を増やしたり、時間を増やす等要望のケアへの取り入れがある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	「ささえあいネットワーク」への参加をし、地域、介護事業者などと交流し、行政（市）との連携がある。 事業者説明会への参加、消防の、救急講習会への参加がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	意見箱の設置がある。 施設の行事参加への呼びかけとともに、面会時、行事参加時での、情報共有、意見要望の収集がある。 毎月「虹色通信」を発行し、施設の運営情報、状況の報告をしている。 運営推進会議への出席を促し、また、会議時での意見、要望、提案をケアに取り入れている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○			